

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	85	高速電車事業会計	事業コード	35419
事業名	高速電車事業会計					
評価担当課	所 属	交)事業管理部 経営計画課			電話番号	896-2716
施策名	高速電車事業会計					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	昭和46年12月に南北線(北24条～真駒内)を開業して以来、市勢の発展に伴い、昭和51年に東西線(琴似～白石)、53年に南北線延長部(麻生～北24条)、57年に東西線延長部(白石～新さっぽろ)、63年に東豊線(栄町～豊水すすきの)、平成6年に東豊線延長部(豊水すすきの～福住)、さらに11年2月に東西線延長部(琴似～宮の沢)と数次にわたり整備拡充を図ってきた。 近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により乗車料収入が大幅に減少した令和2年度を除き、経常黒字を維持しているが、電気料金や資材価格の高騰もあることから、その動向に注視しながら、老朽化した設備の更新や駅の改良等安全輸送と旅客サービスの向上に向けた取組を進めている。
	事業内容(何を実施し)	地下鉄事業48. 0km(南北線14. 3km、東西線20. 1km、東豊線13. 6km)の経営。 市民の移動を支え、都市交通の根幹を担う重要な都市施設である。 令和5年度の輸送人員は年間218, 653, 760人、1日当たり597, 415人となった。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	かけがえのない市民の財産である地下鉄と路面電車を最大限活用し、公共交通ネットワークの中核として、お客さまのゆたかなくらしとまちの発展を支える。
	他都市の状況	現在、札幌市以外に公営で地下鉄事業を行っているのは、仙台市、東京都、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市、福岡市である(大阪市については平成30年4月1日より民営化)。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	39,688,463 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	524 人工
令和5年度予算額	42,576,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	534 人工
令和5年度決算額	40,448,135 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	527 人工
令和6年度予算額	43,682,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	540 人工

指標	アウトプット活動指標1					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1	輸送人員(1日平均)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		552,218人	554, 000人	597, 415人	596, 000人	595, 558人	593, 460人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	コロナ禍で落ち込んだ乗車人員は回復傾向にあり、輸送人員の当初目標を大きく上回った。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	コロナ禍後の経営環境の変化を踏まえ、令和元年度に策定した札幌市交通事業経営計画【令和元～10年度】の改定を行った。
来年度以降の方向性	改定した札幌市交通事業経営計画に基づき、安全の確保及び快適なお客様サービスの提供等を進めていく。